

[プレス・リリース]

各位

Tri-Wall Holdings Limited株式の譲渡に関して

[東京、2016年5月13日] – CITIC Capital Partners Limited (以下「当社」といいます。)は、そのファンド(以下「CITIC日本ファンド」といいます。)がレンゴー株式会社(以下「レンゴー」といいます。)と、CITIC日本ファンドが同一グループ内のファンド(CITICインターナショナルファンド)と併せて保有するTri-Wall Holdings Limited (以下「Tri-Wall」といいます。)の67.1%の株式全てをレンゴーへ譲渡する旨の株式譲渡契約を2016年5月13日に締結したことをお知らせいたします。なお、本株式譲渡の実行は2016年10月31日を予定しており、また各国の競争法その他関連法令等に係る許認可が得られること等を条件としております。

Tri-Wallは重量物包装業界のリーディングカンパニーであり、2010年7月のCITIC日本ファンドによる投資以降、当社による様々な支援の下で市場開拓を進めて参りました。その間、保有するブランド力・技術力・高い品質を梃子に、商品開発力・提案営業力等に更なる磨きをかけたばかりでなく、一連の企業買収等を通じて、中国・アジアにおける事業拡大に加え、開拓余地の大きい欧州やインド、中東など海外新市場への進出を果たしました。その結果、重量物包装領域において、随一のグローバルかつワンストップソリューションを提供可能な事業体制を構築し、近年ますますサプライチェーンをグローバル化させている顧客のニーズに応えられる体制となったことで、競争力が更に向上、顧客基盤を強化・拡大しております。その上、Tri-Wallは更なる地域拡大や顧客へのサービス提供体制の進化なども視野に入れており、重量物包装業界におけるグローバルNo.1プレーヤーとしての揺るぎない地位確立への道筋を歩んでおります。

レンゴーは、大阪府に本社を有する企業グループであり、製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外事業を幅広く展開し、パッケージングのイノベーションのみならず、営業力の強化、積極的な設備投資、国内外でのM&A等を通じて、業容の拡大と収益力の向上に取り組んでいる包装業界のリーディングカンパニーです。

当社は、本株式譲渡を通じて、Tri-Wallおよびレンゴー両社がそれぞれ有するブランド力、技術力、販売ネットワーク、顧客基盤をはじめとした各経営資源が有機的に結び付き、最適なパートナーとしてシナジー効果が生み出され、両社の企業価値の更なる向上が実現されることを確信しております。

レンゴーと共に次なる成長ステージへと進むこととなるTri-Wallに、今後とも従前と変わらぬご支援を賜りたく、よろしくお願いいたします。

Tri-Wall概要

創業： 1974年
代表者： 取締役会長 鈴木雄二
本社所在地： 香港
ウェブサイト： <http://www.tri-wall.com/>

レンゴー概要

創業： 1909年
代表者： 代表取締役会長兼社長 大坪清
本社所在地： 大阪
ウェブサイト： <http://www.rengo.co.jp/>

CITIC Capital Partners Limitedについて

中国最大級の金融・産業コングロマリットであるCITIC Group (中信集団) に属する資産運用業を中心としたCITIC Capital Holdings Limited (中信資本、本社：香港) 傘下のプライベート・エクイティ部門であり、日本、米国、中国で、プライベート・エクイティ・ファンド事業を展開しております。

CITIC日本ファンドは、中国やアジアにおけるCITICグループのネットワークや経営資源を活用し、特に、ブランド力や技術力を備えた製造業および消費財分野に注目しながら、日本の中堅企業の一段の事業成長を促進するハンズオン支援に注力しています。2004年の設立以来、これまでに11件の投資を実施し、本件を含めて5件のイグジットを行っております。

ウェブサイト： (英語) <http://www.citiccapital.com/> (日本語) <http://www.citiccapital.jp/>

本件お問い合わせ先

CITIC Capital Partners Japan Limited

03-5211-3830 (伊藤)

以上